

■米国：カリフォルニア州も再エネ電源 100%を目指す州法制定へ

2018年7月3日付の業界紙によると、カリフォルニア州議会の下院公益事業およびエネルギー委員会（Assembly Utilities and Energy Committee）は10対5の投票で、2045年のクリーンエネルギーを100%と設定する法案SB100を承認した。同法案は既に上院が承認しており、下院本会議（the full Assembly）で承認されれば、署名することを明らかにしているジェリー・ブラウン知事（民主党系）のもとに送付される。法案が可決されればカリフォルニア州は、電力会社がCO₂を排出しない再生可能エネルギー等から電力を100%調達する構想を定めた米国の州として、ハワイ州に次いで2番目になる。